



市庁舎建設・新型コロナウイルスの 対応・太陽光発電施設開発について

市庁舎建設についての市民アンケートの結果(中間報告)について

問 現在の場所に建て替えるが43・4%、旧安中高校跡地が40・5%の回答。耐震補強するが3・9%あり、現庁舎敷地内を選んだ方は47・3%になり、一番多い。現段階での特徴はどうか。

答 現段階では、市民の認識の多くは、耐震強度の低い庁舎は建て替えが望ましいということ、また、庁舎に求める機能として防災拠点の機能強化の意見が多

いこと等を把握できました。

問 跡地の活用では、旧安中高校跡地の場合も、現庁舎が跡地になる場合も、1位は「イベント広場、防災公園など多目的スペース」と、同じ回答になっている。市役所と一緒にできなくても、お互い近くにあり利便性があるということだと思ふ。また、具体的検討は庁舎の方向性が出てからでもでき、旧安中高校跡地

の方が、活用しやすいのでは。

答 跡地活用の貴重な意見をいただきました。改めて具体的検討が必要と考えます。まずは庁舎整備の方向性を検討します。

問 建設場所について、市民懇談会の報告では3案があったが、結果を踏まえての考えはどうか。

答 「現在の場所」と「旧安中高校跡地」が大変多い状況でした。その他、新型コロナウイルス対応、太陽光発電開発の問題等を質問しました。

その他、新型コロナウイルス対応、太陽光発電開発の問題等を質問しました。



市役所本庁舎(旧庁舎・中庁舎)



安中市フードバンク事業・ コロナ禍の支援策について

安中市フードバンク事業について

問 進捗状況は。

答 生活困窮世帯などに寄り添うため、食を通じた支援としてフードバンクを立ち上げました。食料や生活用品を保管しておくための倉庫が確保できましたので今後、本格的に活動を始めていきます。

問 事業促進に向けた取り組みは。

答 昨年11月には市内事業所を対象としてフードバンク事業の食料提供等についてのアンケート調査を実施しました。今後は、事業所に訪問等を行い食料など物資の提供をいただける事業所の拡充を図ります。

問 提供された支援物資の配布方法は。

答 フードバンク事業は日常生活を支えるひとつのツールと考え、まず、生活にお困りになっている方の生活状況や悩み事等の相談を行い、問題となっているこ

とを解消しながら同時に食料支援を行っています。

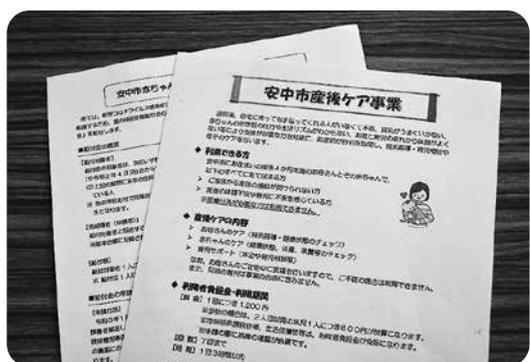
問 子育て支援の拡充について

答 安中市産後ケア事業の利用者負担金を軽減する考えは。

答 子育て世帯は経済的負担が大きいため、他市の状況を見ながら自己負担について検討します。

問 令和2年度実施の赤ちゃん応援給付金給付事業を、今年度も継続していく考えは。

答 今後の状況を見ながら検討します。



産後ケア事業などのチラシ